

Mipox 株式会社との 「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PR0」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦）は、本日、Mipox 株式会社（代表取締役社長：渡邊 淳、以下「Mipox」）との間で、「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PR0」（※1、以下「本商品」）の融資契約を締結しました。

本商品は、ポジティブ・インパクト金融原則（※2）に基づいて開発したインパクト評価フレームワークを活用し、お客さまの企業活動が与えるインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響、※3）を包括的かつ定量的に評価します。その評価において「ポジティブ・インパクトの創出およびネガティブ・インパクトの抑制が認められる」と確認された場合、当該取り組みの継続的な支援を目的としてファイナンスを行うものです。

Mipox は、1925 年の創業以来、「塗る・切る・磨く」のコア技術とともに発展し続け、2026 年 3 月期には創業 100 周年を迎える中、サステナビリティに責任ある会社となるため、環境・社会・ガバナンスを重視した取り組みを行っています。環境面では、IH 粉体塗装システムをはじめとする環境に配慮した製品の開発や、太陽光発電設備の設置による創エネルギー等、また、社会面では、有給休暇取得によるワークライフバランスの充実や労働安全性の向上、障がい者雇用を含めた働きやすい環境の整備等、様々な取り組みにより、サステナビリティ経営を推進しています。

〈みずほ〉は、このような企業活動を中心に、特に SDGs の目標達成に対しインパクトを与える活動として、別紙記載のテーマについて定性的・定量的に評価しました。

また、株式会社日本格付研究所（JCR）から本件評価にかかるポジティブ・インパクト金融原則への適合性、および環境省の ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項(4)に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースが纏めた「インパクトファイナンスの基本的考え方」との整合性について第三者意見を取得しています。

〈みずほ〉は、インパクト評価ならびにインパクト測定・マネジメント（※4）をお客さまとのエンゲージメントを通じて行い、ファイナンス面からポジティブなインパクトの創出を支援していきます。また、今後もお客さまのサステナビリティへの取り組みについての多様なニーズに応えるため、SX 推進支援の拡充に取り組んでいきます。

<本件の概要>

融 資 先 : Mipox 株式会社

組 成 総 額 : 45 億円 (コミットメントライン契約総貸付極度額)

資 金 使 途 : 運転資金

契 約 日 : 2025 年 3 月 24 日

契 約 期 間 : 2 年

Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO 一次評価書

(https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/finance/growing_field/pif_pro/pdf/2024_03.pdf)

※1: 「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」

2022 年 10 月 6 日付プレスリリース「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」の取扱開始について

(https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20221006release_jp.pdf)

※2: ポジティブ・インパクト金融原則

国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) の銀行および投資メンバーであるポジティブ・インパクト・ワーキンググループが 2017 年に発表した SDGs 達成に向けた金融の共通枠組みであり、持続可能な開発の 3 側面 (環境・社会・経済) について、ポジティブ・ネガティブの両面からインパクト評価を行う包括的内容となっている。また、UNEP FI はインパクト特定のツールとして、12 のインパクトエリアと 34 のインパクトトピックからなるインパクトレーダーを提示している。

※3: 社会的インパクト

「短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的なアウトカム」のこと。アウトカムは、事業や取り組みのアウトプットがもたらす変化、便益、成果のこと。

※4: インパクト測定・マネジメント (Impact Measurement and Management, IMM)

グローバル・インパクト投資ネットワーク (GIIN) の定義に基づき、ネガティブなインパクトを低減させ、ポジティブな社会的・環境的インパクトの意図的な創出について、その測定とマネジメントを実行すること。

以 上

特定された インパクト	KPI	SDGs
		17 の目標
雇用 (ポジティブ) その他の社会的弱者 (ネガティブ)	【KPI】(単体かつ各時期までの目標) ○障がい者雇用率： ・2026 年 3 月末までに 2.6%以上 ・2028 年 3 月末までに 2.8%以上	 
大気 (ポジティブ)	【KPI】(単体かつ単年度の目標) ○IH 粉体塗装システム販売数： ・2026 年 3 月期 4 社 ・2027 年 3 月期 5 社 ・2028 年 3 月期 6 社 ・2029 年 3 月期 7 社	
健康および安全性 (ネガティブ)	【KPI】(単体かつ単年度の目標) (1) 労働災害事故件数：0 件を維持 (2) 有給休暇取得率：80%以上を維持	 
気候の安定性 (ネガティブ) ※右記 (1) (2) 廃棄物 (ネガティブ) ※右記 (2) のみ	【KPI】(単体かつ単年度の目標) (1) 太陽光発電の創エネルギー： ・2026 年 3 月期以降、每期 1.3 百万 kWh を維持 (2) ISO14001 取得： ・2026 年 3 月末までに福山事業所において、ISO14001 の認証を取得 ・各事業所における ISO14001 認証を維持	 